

昨年度のご寄付のお礼と活動紹介

2015年度の「寄付キャンペーン」におきまして総額1,101,580円のご寄付を頂きました。心よりお礼申し上げます。寄付金は患者会の設立や調理実習などのイベントに使用させて頂きました。その成果の一部を紹介させて頂きます。今年度もアレルギーっ子とその家族のために、ご寄付ならびに私どもの活動のご支援をどうぞよろしくお願い致します。

患者会の設立支援

【かけがわこどもアレルギーの会】

今回熊本地震のアレルギー関連の新聞記事でアレルギー疾患のもつ者は災害弱者であることを知らされました。その中で患者同士がつながり、ネットワークで支えあうことの必要性を実感しました。一人ではなにもできませんが、まとまって声をあげることで支援の手が届くと思っています。でも、いざ患者会をつくらうとしても資金もなければやり方もわかりません。そこをアレルギー支援ネットワークの方に指導してもらおうことで準備ができ、行政や医療機関との連携ができ、会の土台をしっかりと作ることができるのだと思います。指導がなければ、グループ活動で終わってしまうかもしれません。

患者会を通して、その地域で子育てしていくための生活のノウハウの取得、また保護者だけではなく患児同士も交流ができ患児が頑張っているのは自分だけではないと思えることができるようにしたいと思っています。(Tママさん)

【アレルギーっ子の会 in 瀬戸】

アレルギー支援ネットワークのサポートという基盤がある中で活動している「患者会」としてまとまることで、アレルギー児の一母として、個人で発信してもなかなか受け入れられなかった要望が声に出しやすく、さらにその声に、お店や地域の方が興味を持ってくださり、協力をしてもらえたり、前向きに関わって頂ける機会が増えました。

患者会がアレルギー疾患を持つ親子の交流の場となることはもちろん、会として地域と関わりを持ち、アレルギー疾患が広く認知される事を目指して活動していきたいと思っています。(Mさん)

アレルギーっ子も楽しく参加できる『親子クッキング』を開催しました♪



栄養士による患者支援

アレルギーっ子の災害対策支援

【蒲郡アレルギーっ子の会】

行政をはじめ、まわりとの連携の取り方をご指導いただき、防災シンポジウムでは、実際に防災活動をしている方々との活動の場を与えていただきました。(M, Kさん)

【RIN RIN♪豊橋アレルギーっ子の会】

東日本大震災の時に、食物アレルギーのある我が子がどのような事態になるのか不安になり、アレルギー支援ネットワークに電話をしたことがきっかけで、患者会を設立することになりました。地域の防災訓練にも参加し、アレルギーっ子と防災について啓発活動も行っています。(S, Hさん)

【守山アレルギーの会】

今年度は助成金をもらって調理実習や防災の勉強会などの様々な活動ができ、④結力も少しずつ強まっているように感じます。それだけでなく、栄養士さんは顔が広い方なので、会に少しずつ横のつながりができてきました。(TOMさん)

【天白アレルギーの会】

栄養士さんが来てくださるので、病院で先生や看護師さんに聞きづらい事が気負わず気軽に聞け、交流会に活気がありました。(Hさん)

アレルギーっ子も安心して食べれる備蓄商品の試食や災害の備えについて親子で学べる勉強会を開催しました。



保健センターなど自治体との連携

【アレルギーっ子の会(豊川)】

アレルギー支援ネットワークの方から教えて頂く専門知識や、色々な患者会からの情報は、正確で、貴重です。保健センターなど市の関係機関とも連携しをしてくださり、良い関係を築けています。(アレルっ子母さん)

【アレルギーっ子の会 in 瀬戸】

アレルギーに關する正しく新しい情報をいただいたり、自分たちではできない行政とのパイプを作ってくさったり、とても助かっています。(Yさん)